

令和元年度「第二次三重県行財政改革取組」 上半期の進捗状況について

「第二次三重県行財政改革取組」は、「協創・現場重視の推進」「機動的で柔軟かつ弾力的な行財政運営」「残された課題への的確な対応」を3つの柱として、取り組んでいるところです。

本取組の進捗状況については半期ごとに取りまとめ、県議会に報告するとともに、ホームページなどを通じて県民の皆さんへ公表することとしており、今年度の上半期（4月～9月）の実績を、資料1別表のとおり取りまとめました。

なお、8月末時点で取りまとめているため、9月の実績は見込みとなっています。

1 具体的取組の上半期実績

【協創・現場重視の推進】

○協創の推進に向けた職員の現場・実践体験の促進（別表 番号3）

職員が、企業・NPO・市町などのさまざまな主体においての実践体験を積むことで、現場感覚を高め、協創の推進につながるよう、各部局において現場インターンを実施しました。

・平成29年度：5部局で10か所へ派遣

・平成30年度：7部局で25か所へ派遣

⇒ 令和元年度（上半期）：4部局で11か所へ派遣

【機動的で柔軟かつ弾力的な行財政運営】

○機動的で柔軟かつ弾力的な働き方改革の推進（別表 番号4）

これまでの試行の結果をふまえ、今年度から夏季における朝型勤務を本格実施しました。

・実施期間 令和元年6月～9月

○機動的な財政運営の確保（別表 番号5）

「三重県財政の健全化に向けた集中取組」の具体的な取組として、県有施設の見直しに向けた庁内協議を実施するとともに、未利用財産の売却や、クラウドファンディング事業等に取り組みました。

【残された課題への的確な対応】

○「三重県職員人づくり基本方針」の見直し（別表 番号6）

県民からの信頼回復に向けて、平成31年3月に策定した「不適切な事務処理及び不祥事の再発防止に向けて」に掲げる当面の重点的事項等について、取組を進めました。

特に、新たに組織マネジメントシートにコンプライアンスに係る各部局・所属の具体的な取組内容や目標の記載、知事と本庁次長級以上の職員との個別面談など、全庁的な推進体制の強化を図るとともに、クレドカードに職員自らが考えた「私のコンプライアンス宣言」の記載、知事と職員との意見交換など、職員一人

ひとりがコンプライアンスを「自分事」としてとらえ、意識を高めるための取組等を進めています。

○意欲の向上に向けた組織風土づくり（別表 番号 7）

職員提案制度について、「テーマ別事業提案」における提案をブラッシュアップするための意見交換会を実施するとともに、MIE職員力アワードについて、優良事例の水平展開に向けて、イントラネットやメルマガ等での事例紹介等を実施しました。

2 年次計画に対する進捗状況

上半期経過時点（9月末）では、平成30年度までに達成済みの8項目を含め、今年度の年次計画により進行している11の具体的取組すべてについて、ほぼ計画どおり進捗している状況ですが、コンプライアンス意識の向上など、これまでの取組が成果として十分に現れていないものもあることから、年度途中で取組の改善を図るなど、より成果の向上につながるよう努めています。

下半期につきましても、全ての取組の達成を目指して、定期的の実績等を確認しながら適切な進行管理に努め、年次計画及びロードマップ（工程表）に基づき着実な推進を図るとともに、既に達成済みの取組においても、取組にかかる成果の維持・向上に努めます。